

第五回

池田町

アイデア

工房会議



本日の流れ

1. 会全体の流れ

2. 本日の流れ

※途中お茶タイムを1～2回とります。

3. 今後の流れについて

1. 会全体の流れについて

◆今回のポイントは;

住民のきもち・想いを、**参加者の皆さん**で議論し、**地域の課題・気になるところを発見**し、それを**解決するプロジェクト**を考えることです。

そして、実際へ向けてどんなことを**段取**っていけばいいのかを考え、すぐにプロジェクトを始めるための**アクション**を議論します。

1. 会全体の流れについて

今回の5回の流れ

第1回 テーマごとの課題を発見します。

第2回 チームを変えて、テーマについて議論します。

第3回 課題に対応するしかけ・プロジェクトを考えます。

第4回 プロジェクト内容を詰めていきます

第5回

プロジェクトの実施方法を考えていきます

3. 本日の流れ

(1) プロジェクトごとに前回の内容（170分間）

- 前回の内容の確認

- 「結果としてどんなまちになる」；目標とするまちの姿

- 1 プロジェクトが終わった直後の姿

- 2 プロジェクトが終わって5年後の地域の姿

- 「課題」；目標とする町の姿に沿った課題になっている？

- 「手法」；課題を解決できる手法になっている？

- 最終事業シートの作成

- 箇条書き

- 1プロジェクト1シート

- 参加者の方々中心で作成

- 発表

(2) 今後の流れの確認（10分間）

- ・今後の流れのご報告をします。

結婚 その1(事務局加筆はアンダーライン)	
No	1
交付金	〇
プロジェクト名	和(まるわ)プロジェクト
課題 ②	・気軽に参加出来るイベントが少ない
対象	・町内外問わず若者 ・子育て世代までの町民
内容 ③	・男女問わず出会いが得られる ・町内中学校の同窓会等の開催を支援する？ ・同窓会 町がバックアップしてくれるなら何かできないか？ ・卒業して6～7年後の同窓会で交流が広がった。成人式を機に ・成人式後、メールなどを利用して(口コミ)2次会…かなりの人が集まった。池田町在住なので、時間に余裕がある。 ・昔の姿からの変容が新鮮。 ・同じ町でも「初めまして」状態。「何組？」など楽しい。話しやすい。 (神戸町)【同窓会】呼びかけ【で】100人くらい集まった (大野町)学校【で同窓会】片付けは外注。町内のはがき代、バス ・池田町に限らず外から町に帰ってくる(同窓会から) ・結婚をしている&していないで話題に偏りが出る。結婚の話題・ ・出会いが無い ①同窓会(つながり)→②深まり(イベントのきつ ・同窓会→中学生の時になどに目立っていた人→集客力のある人 ・お盆の時期の同窓会 かえって人が集まらなかった。 次回の朝 ・同窓会 背中にNo.をつけて質問に対して答えを言う ・同 ・人数が多くてお店では限りがある 場所はどうか？ ・学校主催の同窓会も他では有る。身内だけより他の年齢も入れてもいいのでは？ ・結婚につながる会が同窓会か？30代…どうか。同年齢での会ならではの共通の話題が出てきて良い。 ・発信(メールか知り合い) ・町が同窓会を発信する ・同窓会だけで終わらない→体験活動→次に繋げる 27年度50 ・池田クラブ 運営は池田町？ 日常生活Aとコラボ「達人から学 ・行政が主になると「やってあたりまえ」感が強くなる。→どこまで ・イベントは池田町が後援の方が受け入れやすい。
誰と	・当事者同世代
どうして	・出会いがない
手法 ④	・同窓会 ・アウトレットイベント ・クラフト ・音楽、飲食など楽しいイベント(主催)
場所	・地元 ・大津谷キャンプBBQ ・ワンダーピクニック関
どんな順番で	1) 2) 3)
結果として、 どんなまちになる？ ①	

検討ポイント1
どんなまちになる；目標とするまちの姿。
1) このプロジェクトが終わった直後
どんなまちになっている？
2) 5年後どんなまちになっている？

検討ポイント2
目標とするまちの姿と課題がちゃんとつな
がっている？

検討ポイント3
、内容は課題を解決できる？

検討ポイント4
、手法は段取りよく実施できる？
誰が、どう進めるかがわかる？

若

大とのつながり
和のつながり

プロジェクト名；

参加者

【 課 題 】

◆課題

- ◆これまで検討してきた課題を書きます
- ◆前ページの検討ポイントその②を参考にして書きます

【 解決した姿 】

◆解決した姿

解決した姿を
象徴する写真・
イラストなどを
示す

- ◆課題が解決してきたどんな姿になるかを具体的に書きます
- ◆前ページの検討ポイント①を参考にして書きます。

【 内 容 ・ 手 法 】

◆解決するための内容・手法（誰が・何を・どうやって）

- ◆解決した姿を実現するためにどんな手法をとる野かを示します。誰が、誰と、どんな内容・手法・どこでなどを示します。
- ◆前ページの検討ポイント③・④を参考にして書きます。

◆5年後になっている地域社会の姿

前ページの検討ポイント①を参考にして書きます。

プロジェクト名；

【 課 題 】

◆課題

- ・農業等の6次化が進んでいない

【 解決した姿 】

◆解決した姿

- ・町内で生産・加工
- ・販売などが一気通貫で出来るようになる。
- ・収益が増加する



出典：<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201502/3.html>

【 手 法 】

◆解決するための手法（誰が・何を・どうやって）

- ・農林係が中心となって、生産者と加工業者などのマッチング大会を実施する。
- ・金融関係者にも声をかけ、事業拡大のための融資などのきつかけを提供する。

◆5年後になっている地域社会の姿

- ・町内の農産物が知名度があがり、かつ、町内で販売までできるようになり、産業としても魅力が上がる。
- ・結果、若い就業者が増える。

4. 今後の流れについて

◆ 1. 発表会の実施

- ・ 9月25日（1830～2000） 3 A ; 現在の場所
- ・ 今回の最終事業シートを中心に発表した発表を予定
- ・ 1グループ 5分程度

◆ 2. 懇親会をしませんか？

プロジェクト名;

【 課 題 】

◆具体的な課題

【 解決した姿 】

◆解決した姿&イメージ等

➡

【 手 法 】

◆解決するための手法(誰が・何を・どうやって)

◆5年後の地域社会の姿